

令和6年度 第1回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会 次第
(川西市環境審議会専門部会)

日時：令和6年8月19日 14:00～

場所：川西市役所 4階 庁議室

1. 委員長 あいさつ
2. 委員 紹介
3. 生物多様性ふるさと川西戦略(概要)について【資料1】
4. 審議
生物多様性ふるさと川西戦略進捗状況調査（令和5年度）について
【資料2】
5. その他
6. 市民環境部長 あいさつ

【配付資料】

- ① 令和6年度 第1回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会 次第
- ② 令和6年度 第1回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員 名簿
- ③ 令和6年度 第1回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会 座席表
- ④ 【資料1】生物多様性ふるさと川西戦略（概要）について
- ⑤ 【資料2】生物多様性ふるさと川西戦略進捗状況調査（令和5年度）
- ⑥ 生物多様性ふるさと川西戦略 2024年度改訂版

川西市環境審議会 専門委員（生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会）名簿

令和6年7月1日

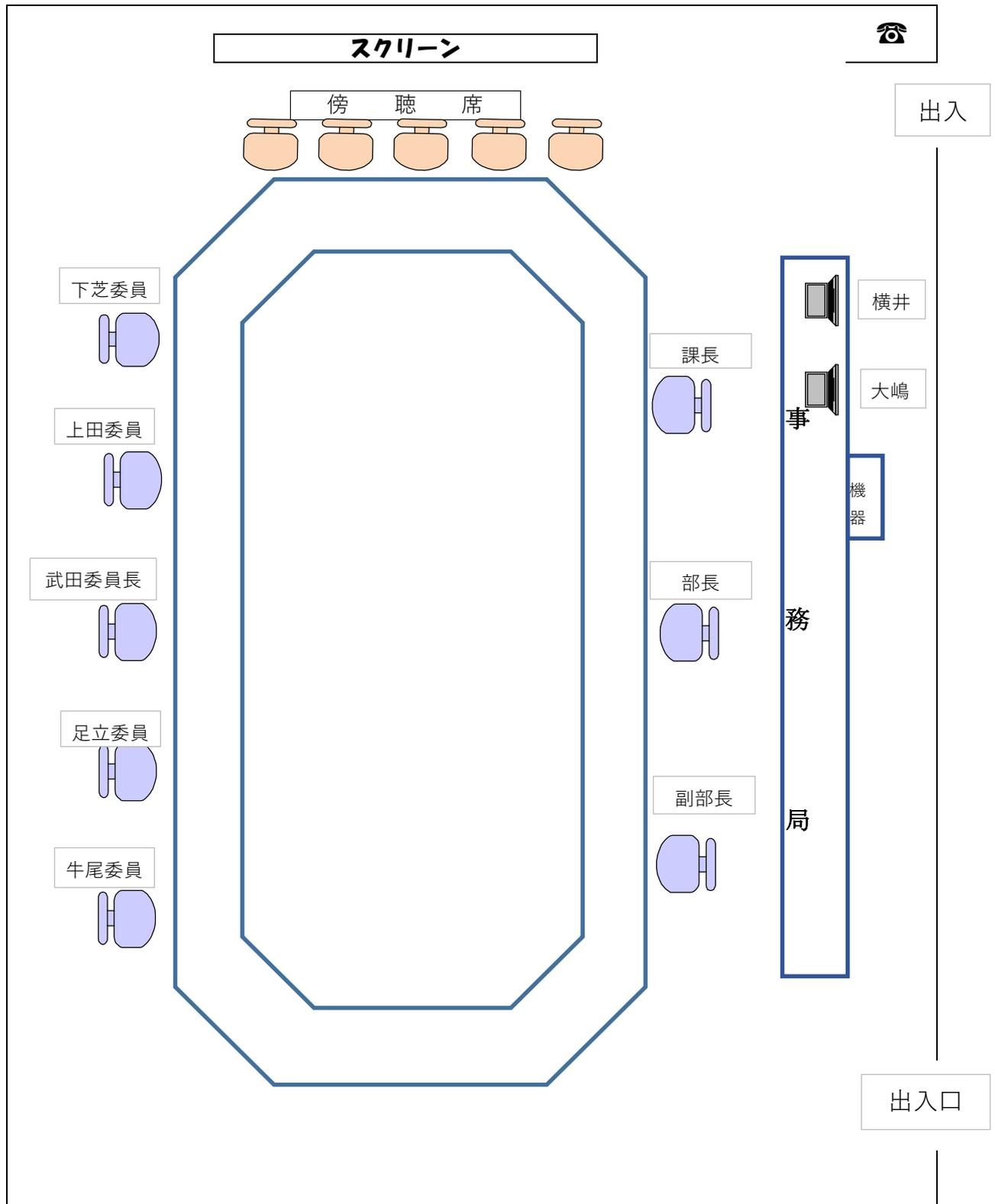
委嘱期間令和6年7月1日～令和8年6月30日

No.		氏名	役職	選出区分	備考
1	委員長	武田 義明	神戸大学人間発達環境学研究科 名誉教授	学識経験者	環境審議会委員
2	専門委員	足立 隆昭	兵庫丹波オオムラサキの会 会 長	学識経験者	
3	専門委員	上田 萌子	大阪公立大学准教授	学識経験者	
4	専門委員	牛尾 巧	一庫公園管理事務所長	学識経験者	
6	専門委員	下芝 勇登	流域ネット猪名川 代表	学識経験者	
5	専門委員	信田 修次	能勢妙見山ブナ守の会副会長	学識経験者	欠席

令和6年度 第1回 川西市環境審議会専門部会
(生物多様性ふるさと川西戦略委員会)

R6.8.19 (月) 14時～

庁 議 室



生物多様性ふるさと川西戦略（概要）について

生物多様性ふるさと川西戦略について

- ・ 2015年度策定
- ・ 2023年度一部改訂

計画の構成（目次）

- 第1章「生物多様性ふるさと川西戦略」策定の目的と位置づけ
- 第2章「本市の生物多様性の現状と課題」
- 第3章「本戦略がめざすもの」
- 第4章「行動計画」
- 第5章「推進体制と進行管理」

策定の目的（P2）

本市のすばらしい自然と文化のもとになる生物多様性を次世代に引継ぎ、持続的に利用することを目的に、私たちのふるさとである川西に誇りと愛着を持って、自然や文化、生物多様性への理解を深め、川西市総動員で生物多様性を守り、育み、共生するまちづくりを進めていくためにとるべき行動について提言。

本戦略改訂の趣旨（P2）

2015年に本戦略を策定して以降、様々な取組を行ってきましたが、世界では、SDGsやOneHealthが広まり、ネイチャーポジティブに向けた30by30達成のために、OECMの登録や保全が進められるなど、生物多様性を巡る情勢は変わりつつあります。また、国でも2023年3月に「生物多様性国家戦略2023-2030」が策定され、兵庫県では、2019年2月に「生物多様性ひょうご戦略」及び「第5次兵庫県環境基本計画」が策定されました。さらに本戦略では、2032年度までの計画期間のうち、2022年度までを第1期とし、その後の10年間を第2期としています。

本戦略が第2期に入るにあたり、国内外や本市の新たな動向に対応したものとするため戦略の一部を改訂しました。

進行の管理システム（P86）

本戦略の進行管理における事業の評価は、①市内において評価する指標の各数値の集計の実施、②「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会」における内容のチェックと評価の2段階で進めます。これは、年度当初の「計画(Plan)」→「実施(Do)」と年度終わりの「評価(Check)」と「見直し(Action)」という流れで管理するPDCA手法であり、検討結果は外部に公表していく予定です。

自己評価の評価方法

- A 目標に向かって事業を実施することができた。次年度以降も継続的に実施する。
B 目標に向かって事業を実施することができた。次年度以降は廃止、または実施できるかは不明。
C 実施できていないが、次年度以降に実施する予定である。
D 実施していない。実施内容等の再検討が必要がある。

生物多様性ふるさと川西戦略 進捗状況調査(令和5年度)

凡例 2024年度改訂前後で変更がない施策 2024年度改訂で修正した施策(修正箇所赤字) 2024年度改訂で新設した施策 2024年度改訂で削除した施策

Table with 11 columns: No, 基本戦略, 施策No, 施策名称, 施策内容, 担当部, 担当課, 自己評価, 令和5年度の実施状況, 成果と課題, 今後の方向性, 専門委員意見と回答. Rows 1-11 describe various environmental and educational initiatives.

自己評価の評価方法
 A 目標に向かって事業を実施することができた。次年度以降も継続的に実施する。
 B 目標に向かって事業を実施することができた。次年度以降は廃止、または実施できるかは不明。
 C 実施できていないが、次年度以降に実施する予定である。
 D 実施していない。実施内容等の再検討する必要がある。

生物多様性ふるさと川西戦略 進捗状況調査(令和5年度)

凡例 2024年度改訂前後で変更がない施策 2024年度改訂で修正した施策(修正箇所赤字) 2024年度改訂で新設した施策 2024年度改訂で削除した施策

No	基本戦略	施策No	施策名称	施策内容	担当部	担当課	自己評価	令和5年度の実施状況	成果と課題	今後の方向性	専門委員意見と回答	
21	基本戦略3	3	山田本市による生物多様性に被害を与える駆逐対策などの実施	③ 外来生物対策 農作物の被害などの防止、希少種を含めた在来生態系の保全・回復のため、特定外来生物であるアライグマ・ヌートリアを対象に捕獲・処分を行っています。また、農作物被害防止対策に対する補助も行っています。さらに、アライグマ・ヌートリア、アルペンテナリアや、今後サクラやモモへの被害の拡大が懸念されるアライグマやサクラについて、注意喚起や駆除に関する啓発を行っています。	市民環境部	産業振興課 環境政策課	A	【産業振興課】農協や川西支部協力のもと、川西市鳥獣被害防止計画に基づき、農作物被害の防止を目的にアライグマやヌートリアの捕獲及び処分を行った。 【環境政策課】アライグマの捕獲依頼申請数及び捕獲数が多く、農作物被害等が発生している。 【環境政策課】主に県から提供された特定外来生物の指定情報について、市HPに迅速に掲載したり、自然活動団体にメールで情報提供することが出来た。	【産業振興課】引き続き農協や川西支部との連携、アライグマやヌートリアの捕獲・処分を行い、農作物被害等の防止に努めている。 【環境政策課】引き続き市HP上や自然活動団体へのメールで外来生物の注意喚起や駆除に関する啓発を行っている。			
22	基本戦略4	1	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	① 生物多様性に関する情報交換の場の提供 「里山を中心としたつくりかた」に基づき、旧黒川小学校グラウンド内に旧黒川里山センターを運営しています。里山保全や教育の振興、観光の推進を図るとともに、地域住民に限らず市内からの様々な方が集まる交流拠点として、生物多様性に関する情報を発信していきます。	市民環境部	文化・観光・スポーツ課	A	里山保全や教育の振興、観光の推進を図るとともに、地域住民に限らず市内外から様々な方が集まる交流拠点として、令和5年度に川西市黒川里山センターの新棟を整備した。 黒川里山センターは令和5年度より指定管理者による管理運営をスタートしており、旧黒川小学校の南北棟で里山学習の受け入れや生物多様性に関するワークショップを周辺施設や関係団体と協力して行った。	令和5年度に川西市黒川里山センターの管理運営を指定管理者が行い、旧黒川小学校南北棟を拠点として生物多様性に関する事業を行うことができた。引き続き情報発信していくとともに、地域外の担い手である関係人口の拡大による地域課題の解決及び活性化につなげる必要がある。	86年度に南北棟の新棟改修工事を行い令和7年度には3棟揃った運営を行う。今後もセンターを中心として情報発信を行っている。		
23	基本戦略4	1	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	② 森林ボランティアの支援 森林の保全に取り組む森林ボランティア団体の活動支援を行い、日本一の里山と言われる黒川地区の里山を含めた森林の整備に努めています。	市民環境部	産業振興課	A	黒川地区の里山を含めた森林の整備を行う市内の森林ボランティア5団体に補助金を交付することで、活動支援を実施した。	各ボランティア団体が黒川地区の里山を含めた森林の整備や保全の活動を継続することができた。	森林ボランティア団体だけでなく、森林保全に取り組む団体へ支援を広げ、森林の整備や保全に努めていく。		
24	基本戦略4	1	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	③ まち山の再評価 本館地に存在するまち山について、生物多様性の観点から再評価を行うこととし、今後の保全の活用について市民との協議の是非を再検討します。	土木部	公園緑地課	A					
24	基本戦略4	1	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	③ 自然や景観への保全活動をサポート 市街地に点在する自然環境や景観については、市民団体や事業者などが実施する保全活動へのサポート方法を検討します。	都市政策部 市民環境部	都市政策課 環境政策課	C	—(新たな指標)	—(新たな指標)	次年度以降の取組み実施に向け、関係各課で内容を調整、検討する。		
25	基本戦略4	1	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	④ 事業者との連携及び生物多様性戦略作成の応援 兵庫県立一庫公園、独立行政法人水資源機構一庫公園管理、国崎クリーンセンターなど生物多様性の拠点となる地点を管理する事業者などと連携し、生物多様性の保全活動への「事業者、団体による生物多様性維持・保全の取組」を推進します。	市民環境部	環境政策課	A	環境フェスタを12月に開催した。その中で国崎クリーンセンター等施設取組のほたるの活動内容を紹介するなど、団体、事業者と連携・協力を維持することができた。	環境フェスタを通じて団体、事業者の活動を市民に紹介することが出来た。	今後も環境フェスタなどを通じて団体、事業者と連携・協力を継続していきたいと考えている。		
26	基本戦略4	2	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	① 北摂里山博物館構想 都会近に残された北摂の里山地域一帯を「北摂里山博物館(地域共生ミュージアム)」として整備し、生産活動はもとより環境学習、野外活動など、訪れる人々それぞれのニーズに合わせた活用していくことを通じ、北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげていく取組を兵庫県と連携して実施していきます。	市民環境部	文化・観光・スポーツ課	A	里山保全や教育の振興、観光の推進を図るとともに、地域住民に限らず市内外から様々な方が集まる交流拠点として黒川里山センター新棟を整備した。	令和5年度に川西市黒川里山センター南北棟の管理運営を指定管理者が行い、子どもを中心とした里山体験学習等の事業を行った。引き続き関係人口の拡大を図り地域課題の解決及び活性化につなげる必要がある。	86年度に南北棟の耐震改修工事を行い令和7年度には3棟揃った運営を行うため、センターを中心とした北摂里山を持続的に保全しつつ、地域の活性化につながる取組を展開していく。		
27	基本戦略4	2	各主体の連携による生物多様性保全活動の継続と拡大	② NPOなどと連携した河川美化の実施 落名川水系の美化環境を保全し、豊かな生物多様性を守るために、NPOなどが実施する河川美化活動を支援し、落ち葉・廃棄物の収集、処置などを行っています。	美化衛生部	美化推進課	A	NPOなどが実施する河川美化活動の支援として、ごみの収集を8回実施した。	NPOなどと連携し、ごみの収集を行った。	引き続き、NPOなどが実施する美化活動を支援していく。		